様式第1号

福井市学校版環境ISO　実施計画書

福井市長　様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和　3年　5月　14日

学校名　福井市和田小学校

校長氏名　　五十嵐　隆美

1　今年度の目標（学校の約束）

① 環境学習に取り組みます。
② 学校で節電・節水に努めます。
③ 地域と連携し、リサイクル・分別に努めます。

2　取組内容

① 環境教育・学習
- ・持ち物を大切にするように、児童を指導します。
- ・５年生の総合的な学習において、「福井の自然を未来へつなごう」というテーマのもと、自然環境を守っていくために自分たちが今できることを考え、実践していきます。

② 節電・節水の取組
- ・使用していない教室や廊下、トイレなどの照明をこまめに消すようにします。
- ・環境委員会が作成したポスターを掲示し、節電や節水を呼びかけます。

③ リサイクル・ごみ減量の取組
- ・ PTA や地域と連携して、インクカートリッジ、牛乳パック、制服や体操服などの回収とリサイクルに取り組みます。
- ・各教室に古紙回収ボックスを設置し、環境委員会が定期的に回収します。
- ・給食委員会が不要な紙で箱を作り、給食用のごみ箱として再利用します。

★　ＥＳＤポイント（取組内容の内、１項目についてＥＳＤの視点をどのように取り入れるかを記載してください。）

③の環境委員会や給食委員会の取組では、不要になったものを再利用し有効に使う力を身に付ける。また、児童が協力しながら主体的に行動する能力を身に付ける。
（多面的・協力・参加）

様式第２号　　（提出日）令和４年１月１１日

福井市学校版環境ＩＳＯ　実施報告書

学校名

和田小学校

１　今年度の目標（学校の約束）

① 環境学習に取り組みます。
② 学校で節電・節水・資源回収に努めます。
③ 地域と連携し、リサイクル・分別に努めます。

２　取組内容

① 環境学習の取組

・５年生の総合的な学習では、「福井の自然を未来へつなごう」というテーマのもと、自然環境を守っていくために自分たちが今できることを考え、実践に繋げました。

「福井のお米ってどうしておいしいの？」という疑問。

⇩

◆米の作り方を学ぶ。

⇩

◆「バケツ稲」で田植えをし、米作り体験をスタートする。

おいしい米は「水」が関係ある？という予想。

⇩

◆おいしい米で有名な大野市を訪れ、大野と和田地区の水を観察比較する。

⇩

◆「きれいな水」がおいしい米を育てることを捉える。

【大野の御清水を観察】

◆稲刈り、もみすり、収穫した米でご飯を炊いていただく体験をする。

⇩

「きれいな水」を守ることが食を守り、人、生き物の命を守る。そのために自分ができることを考え、実践に繋げる。

【御清水にすむイトヨ】

・足羽山の豊かな自然を守るための活動「足羽山どんぐりプロジェクト」に参加しました。環境委員会で、足羽山の植生やどんぐりとギフチョウの関係などについての講義を受けた後、足羽山で採れたどんぐりで種植えを行いました。育てた苗木は再び足羽山に植樹する予定です。

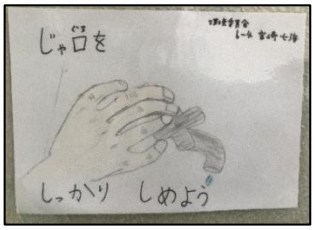
② 節電・節水・資源回収の取組

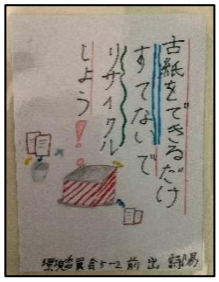
・各教室に、古紙を集める回収ボックスを設置しました。集まった古紙は、環境委員が当番を決めて週に 1 回程度回収し、PTA の資源回収に出しました。

【各教室から古紙を回収】

【古紙を縛って倉庫へ】

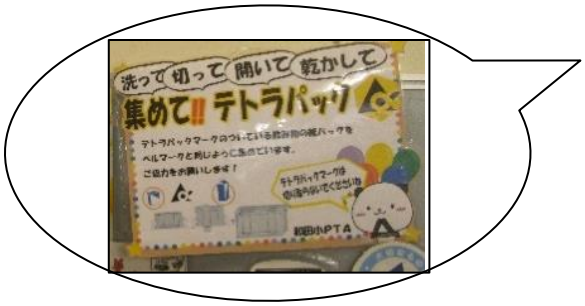
・節電・節水・資源回収に関するミニポスターを作って掲示し、呼びかけました。





③ 地域と連携してのリサイクル・分別回収活動

・家庭・地域と協力して、テトラパック（牛乳パック）とインクカートリッジの回収を行いました。



【リサイクルボックスコーナー】

★ ＥＳＤポイント

①について、人間も含め、生き物はその周辺の環境や生物と関わり合いながら生きていることを学び、水や空気などの環境を守ることの重要性を、身をもって理解することができました。

３ 見直し

【具体的効果】

① 総合的な学習の時間に体験活動を通して身の回りの環境を学習することにより、児童の中に自然環境を大切にしようとする意識が育ってきています。

② テトラパック（牛乳パック）やインクカートリッジの回収は家庭にも浸透し、PTA のベルマーク部の協力を得ながら、定期的な回収を行うことができました。

③ クラスでの古紙回収を通して、紙のリユースやリサイクルの大切さを意識させることができました。

【改善点】

・保護者や地域の方に、学校での取組を今まで以上に広めて、地域の環境に対する意識を高めていきたいです。

・活動の方法や状況について、児童と話し合う時間を設け、教師と児童がともに考えながら活動を広めていくようにしていきたいです。